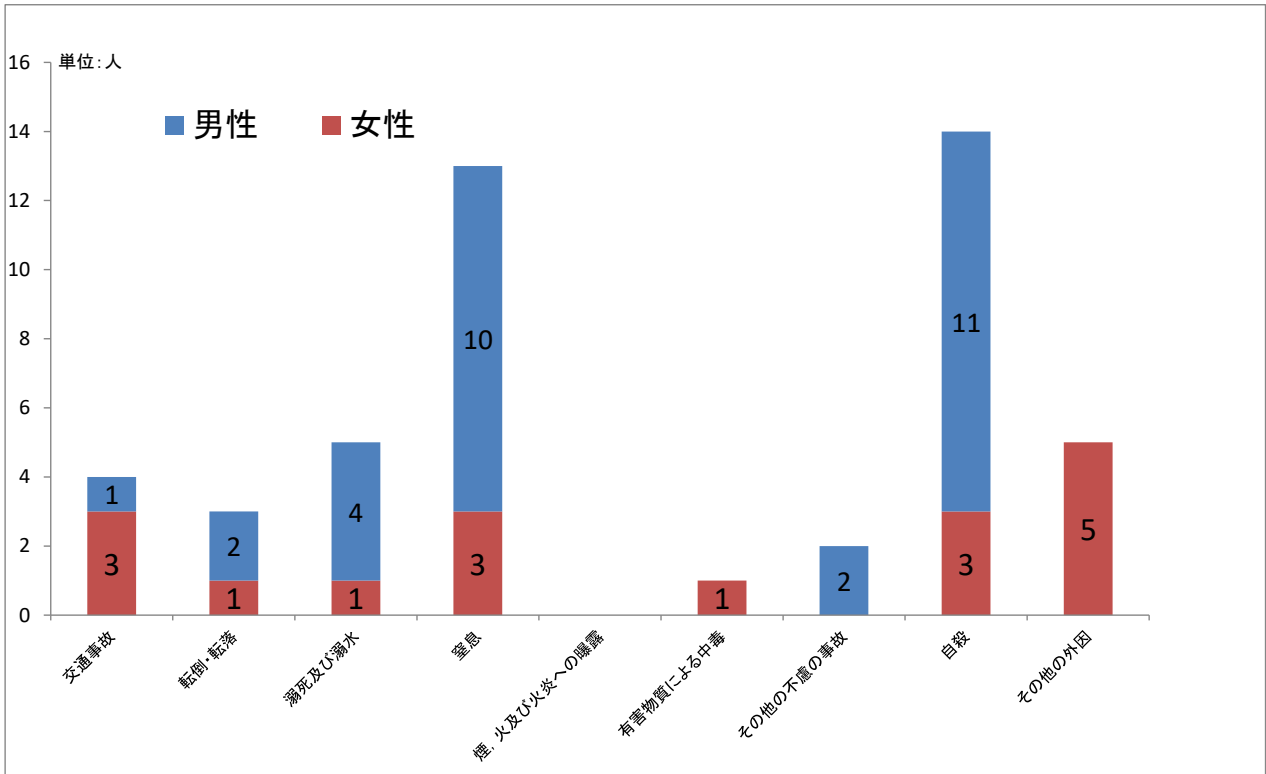


## ○平成30年（2018年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が1番多く、全体の約30%を占め、次いで窒息が多い。  
男女別では、特に窒息、自殺で男性の割合が高い。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、65歳以上の高齢者が多く死亡しており、全体の77%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は、20代から80代まで幅広く広がっている。窒息は70代、80代で多くなっている。

(単位:人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への曝露	有害物質による中毒	その他の不慮の事故	自殺	その他の外因	合計
0歳～4歳										0
5歳～9歳										0
10歳～14歳										0
15歳～19歳										0
20歳～24歳										0
25歳～29歳							1	1		2
30歳～34歳			1					1		2
35歳～39歳										0
40歳～44歳										0
45歳～49歳								1		1
50歳～54歳				1				1		2
55歳～59歳								1		1
60歳～64歳	1							2		3
65歳～69歳			1	1						2
70歳～74歳	1			2		1		3		7
75歳～79歳				2				1		3
80歳～84歳	1	1	2	1			1	2	1	9
85歳～89歳	1		1	6				1		9
90歳～94歳		1							2	3
95歳～99歳									2	2
100歳以上		1								1
合計	4	3	5	13	0	1	2	14	5	47

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。